

# 日清オイリオグループ株式会社

## 横浜臨海部の主な事業所

◆ 横浜磯子事業場（磯子・根岸地区）

## 脱炭素分野の取組

主に対象とする脱炭素分野（グリーン成長戦略の重点 14 分野との対応）

⑨ 食品・農林水産

⑬ 資源循環関連

### 取組概要

日清オイリオグループは、油脂（油脂・油糧、加工油脂）、加工食品・素材（チョコレート、調味料など）、ファインケミカル（化粧品原料など）事業の領域で製造・販売を手掛けています。同社は2021年3月に「TCFD」への賛同と2030年に目指す姿を示した「日清オイリオグループビジョン2030」を発表し、2030年のScope 1、2におけるCO2排出量を2016年度比で31%削減する目標を表明しました。この取り組みを強く推進するためインターナルカーボンプライシングを導入し、「脱炭素化を推進する戦略ロードマップ」を策定しました。生産工程における無駄・ロス削減をはじめとした省エネルギーの取り組みを着実に積み重ねていくとともに、新技術導入による生産工程の効率化や未利用エネルギーの活用検討、海外の生産拠点にコージェネレーション設備の導入を拡充するなど、さらなる省エネルギー施策の実行により、CO2排出量削減の効果を広げていくこととしています。

2022年度には再生可能エネルギーの利用を促進すべく、横浜磯子事業場をはじめとする国内3拠点で太陽光発電を導入しました。12月より順次稼働を開始しており、年間371トンのCO2排出量を削減できる見込みとなっています。さらに堺工場にはバイオマスボイラーを導入しました。2023年1月より稼働を開始し、年間485トンのCO2排出量削減を見込んでいます。今後は2030年に向け、水素もエネルギー源として活用できる体制・設備を整えていく方針です。

守屋町・  
恵比須町・宝町

大黒町

末広町

みなとみらい21

横浜港・港湾部

磯子・根岸



横浜磯子事業場の外観



横浜磯子事業場に  
設置した太陽光パネル